研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-190		20-092	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

What is associated with the increased frequency of heavy episodic drinking during the COVID-19 pandemic? Data from the PAHO regional web-based survey
中南米諸国における COVID-19 流行禍の多量飲酒の頻度増加の関連要因

執筆者

Valente JY, Sohi I, Garcia-Cerde R, Monteiro MG, Sanchez ZM.

掲載誌

Drug Alcohol Depend. 2021 Apr 1;221:108621. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2021.108621.

キーワード	PMID
多量飲酒、COVID-19	33636598

要　旨

目的：中南米諸国における COVID-19 流行禍の多量飲酒の頻度および頻度増加と関連した要因を明らかにする。

方法：中南米諸国 33 カ国の 12,328 人に実施した横断調査データから、2019 年の多量飲酒者についてロジスティック回帰分析により社会経済要因、COVID-19 流行による自己隔離の実施、精神的不安の有無が、多量飲酒の頻度増加に及ぼす影響を検討した（多変量調整オッズ比(aOR), 95%信頼区間(95%CI)）。

結果：2019 年の飲酒者のうち 65%が多量飲酒者であり、COVID-19 流行により 13.8%が多量飲酒頻度の増加を、33.38%が多量飲酒頻度の減少を申告した。多量飲酒の頻度増加リスクとなった因子は、男性(aOR; 1.29 95%CI;1.16-1.49), 高収入(aOR;1.64, 95%CI;1.35-1.99), 高レベルの自己隔離（aOR; 1.10, 95%CI;1.04-1.16）であった。一方、未就労(aOR; 0.78, 95%CI;0.64-0.96), 学生(aOR;0.53, 95%CI; 0.43-0.64),子どもとの同居（aOR; 0.91, 95%CI; 0.84-0.99）は、多量飲酒の頻度増加リスクを低下する要因であった。COVID-19 流行かの多量飲酒の頻度増加と精神的不安は量反応的な関連を認めた。

結論：COVID-19 流行を抑制する他の因子とともに、飲酒量を減らす要因や精神保健についても着目する事が重要である。